

今、あなたにできること

一 対象 高校生

二 主題名 ボランティアとは何か

三 ねらい

奉仕の精神について深く考え、公共の福祉に進んで努めようとする態度を育成する。

四 発達の段階と資料の特質

高校生は、自分の人生をどう生きればよいか、生きることの意味は何かということに思い悩む時期であるとともに、自分自身や自己と他者との関係、人間や社会の在るべき姿について考えを深める時期でもある。このような生徒の発達の段階を考慮し、真のボランティアとは何かについて考え、奉仕の精神をもち、進んで公共の福祉に尽くそうとする態度を培いたい。

本資料は、先輩の提案により初めてボランティア活動を経験した主人公が、新燃岳噴火時に、自らの意志によりボランティア活動を行い、先輩の助言や実際の被災者への支援活動を通して、ボランティアの意義ややりがいを見出すという内容である。主人公の心情や行動の変化を感じ取るを通して、ボランティアの意義について考え、奉仕の精神をもって、公共の福祉のために努めようとする道徳的实践意欲を育成することができる。

五 展開例

- 1 資料や写真から新燃岳噴火の概要について知る。
- 2 資料「今、あなたにできること」を読んで、話し合う。
- (1) 主人公はなぜ、自分で考えて行動しようと思うようになったのでしょうか。
- (2) 主人公はなぜ、ボランティアが自分自身を変えることができるものだと思ったのでしょうか。
- (3) 二回作ったビスケットに込められた思いには、どのような違いがあるでしょうか。
- 3 これまでの自分自身のボランティア経験を振り返り、ボランティアの意義や、今自分にできるボランティアについて考える。
- 4 「若人の絆！復興支援事業」の映像記録集を視聴して、本県高校生のボランティア活動の様子や現地の人々の思いを知る。

六 指導上の留意点

ボランティアは、強制されるものでなく、あくまでも自由意志によるものであるが、公共の福祉、社会の発展に進んで努めようとするのが、一人一人の生きがいのある人生につながっていくことについて考えさせる。

七 参考資料等

「新燃岳噴火 百人の記録（高原町教育委員会）」より生徒作文「自分たちの活動を通して、今、私が思うこと」を一部改変してストーリーを構成した。

視聴覚教材「若人の絆！復興支援事業」映像記録集

【写真提供】高原町（新燃岳関係）